

令和5年 大分県警察業務重点等の推進結果

大分県警察運営方針：県民とともに歩む力強い警察～「日本一安全な大分」の実現に向けて～

業務目標達成状況

1. 刑法犯認知件数過去最少 ⇒ 未達成（認知件数2,993件 前年比+199件 ※犯罪率全国第3位(良好な方から)）
2. 特殊詐欺被害件数過去最少 ⇒ 未達成（被害件数206件 前年比+29件）
※被害額 約3億1,090万円 前年比+約9,134万円
3. 交通事故死者数過去最少 ⇒ 達成（死者数32人 前年比±0人）
※過去最少となった令和4年と同数
4. 重要犯罪の完全検挙 ⇒ 未達成（検挙率86.2% ※全国平均81.8%）

業務重点推進状況

1 総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進

犯罪情勢

※犯罪率…人口10万人当たりの刑法犯認知件数

	刑法犯認知件数	犯罪率	検挙率
令和5年	2,993件	270.4件	50.6%
令和4年	2,794件	250.8件	54.6%
増減数	+199件	+19.6件	-4.0%
増減率	7.1%	7.8%	

★犯罪率は良好な方から全国第3位、増加率は低い方から全国第5位

- ・地域の犯罪情勢等を分析のうえ、地域実態に即した効果的な犯罪防止対策を推進
- ・自主防犯活動の活性化に向けた各種支援活動を推進
- ・街頭防犯カメラ設置支援など防犯環境の整備促進による安全・安心なまちづくりを推進

特殊詐欺の被害状況

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
被害件数(件)	237	126	118	112	150	177	206
被害額(百万円)	261	218	217	293	81	219	310

年月	阻止数	阻止額	阻止率
令和5年	111件	2,913万円	35.0%
令和4年	65件	2,583万円	26.9%
前年比	46件	330万円	8.1P

※ 阻止率=阻止数÷(被害件数-相談既済)×100



防犯ボランティアとの連携

- ・被害件数、被害額ともに増加(前年比+29件、+9,134万円)
- ・架空料金請求詐欺、還付金詐欺などが増加
- ・大型ビジョン等を活用した広報啓発
- ・コンビニエンスストア、金融機関と連携した取組による水際阻止対策の推進



大分駅前交番に設置の大型ビジョン

2 子供・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進

子供・女性に対する声掛け事案、ストーカー・DV事案等への迅速・的確な対応

	R1	R2	R3	R4	R5
声掛け事案	433	344	369	302	286
ストーカー事案	468	399	369	340	382
DV事案	969	844	696	604	693

- ・声掛け事案は減少、ストーカー・DV事案はいずれも増加
- ・教育委員会や学校、PTA、地域住民等と連携した「登下校防犯プラン」を推進
- ・ストーカー・DV行為者に対する迅速な警告や検挙措置等により重大事案を未然防止

少年非行防止・保護対策

	R1	R2	R3	R4	R5
少年非行	120	117	89	66	109
刑法犯少年	120	117	89	66	109
不良行為少年	374	316	360	495	561
児童虐待	594	577	554	630	717
認知件数	594	577	554	630	717
通告人員	603	675	727	898	1016

- ・刑法犯少年の検挙人員と不良行為少年の補導人員はいずれも増加
- ・スクールサポーターの活動等を通じ、学校等と連携して非行の深刻化を防止
- ・児童虐待認知件数、児童相談所への通告人員は増加
- ・被害児童の早期発見、安全確保を最優先とした取組を推進し、重大事案への発展を防止

3 交通死亡・重傷事故の抑止

交通事故情勢

	交通事故件数	死者数	負傷者数	重傷		軽傷	
				重傷	軽傷	重傷	軽傷
R5	2,233件	32人(19人)	2,767人	268人	2,499人		
R4	2,271件	32人(21人)	2,804人	235人	2,569人		
増減数	-38件	±0人(-2人)	-37人	+33人	-70人		
増減率	-1.7%	0.0%	-1.3%	14.0%	-2.7%		

()は高齢者死者数

- ★交通事故件数及び負傷者数は、19年連続で減少するも、重傷者数は、7年ぶりに増加
- ★横断歩道横断中の歩行者事故は、3年ぶりに増加
- ★死者全体に占める高齢者の割合は、約6割

- ・死亡事故や重傷事故に直結するおそれの高い横断歩行者等妨害や最高速度違反に対する交通指導取締りの強化
- ・横断歩道における歩行者優先をはじめとした交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図るための広報啓発の推進
- ・被害・加害両面での高齢者対策(シミュレータを活用した体験型講習など)の推進



白バイによる街頭活動



シミュレータを活用した交通安全教育

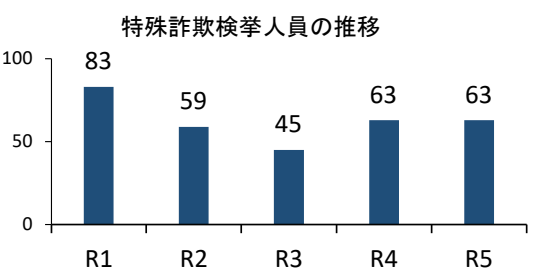
4 悪質・重要犯罪等の徹底検挙

重要犯罪の検挙

罪種	R4			R5		
	認知	検挙	検挙率	認知	検挙	検挙率
殺人	5	6	120.0%	7	6	85.7%
強盗	2	2	100.0%	3	3	100.0%
放火	9	8	88.9%	5	5	100.0%
不同意性交等	5	4	80.0%	16	14	87.5%
略取誘拐	0	0	0.0%	3	2	66.7%
不同意わいせつ	33	30	90.9%	31	26	83.9%
計	54	50	92.6%	65	56	86.2%

- ・重要犯罪(殺人・強盗・不同意性交等・放火・略取誘拐・不同意わいせつ)の認知件数は65件で、昨年比+11件
- ・重要犯罪の検挙件数は56件で、昨年比+6件

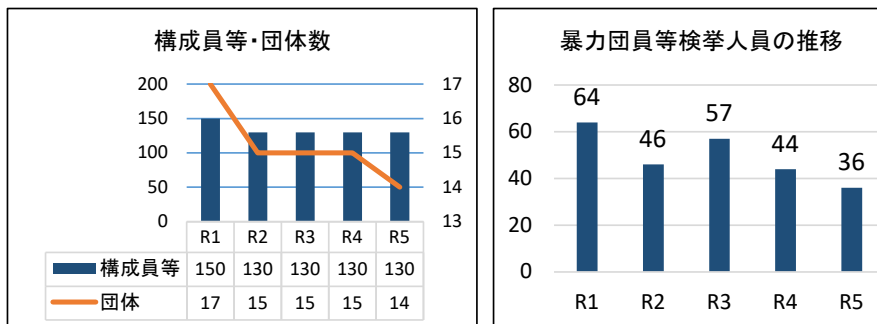
振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の徹底検挙



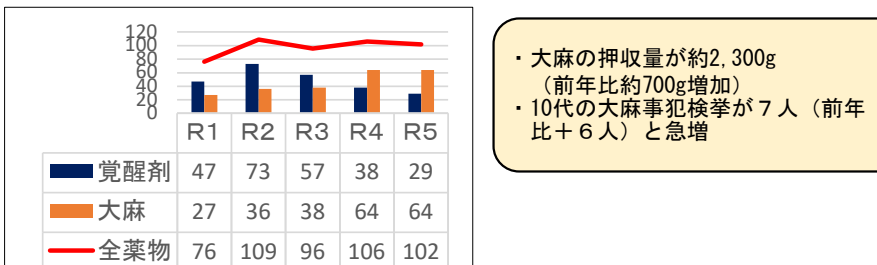
- ・令和5年中は、犯行場所等における防犯カメラ捜査、その他徹底した突き上げ捜査等を行った結果、実行犯及び助長犯を63人検挙

5 暴力団等組織犯罪対策の推進

県民と連携した暴力団排除活動の推進及び暴力団員等の取締り



薬物事犯の取締り強化



- ・大麻の押収量が約2,300g(前年比約700g増加)
- ・10代の大麻事犯検挙が7人(前年比+6人)と急増

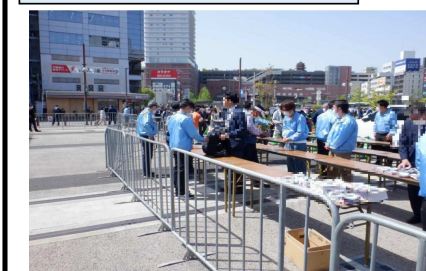
6 災害、テロ等緊急事態対策及び大規模警備諸対策の推進

大規模災害対策等の推進



令和5年7月由布市の災害現場における救出救助活動

大規模警備諸対策の推進



令和5年4月大分市における大規模警備(警護)

7 県民本位の活力ある警察組織の構築

業務の合理化・効率化の推進

- ・特殊勤務手当管理システム及び文書管理システム導入による業務の効率化及び適正化
- ・オンライン形式の採用募集活動
- ・「オンラインによる遺失届」による県民の利便性向上

時間外勤務縮減、休暇取得の推進

◇時間外勤務状況

	時間外勤務時間数(1人あたり月平均)
R5	24.6 H
R4	20.9 H
前年比	3.7 H

◇休暇取得状況

	年次休暇取得日数(1人あたり)
R5	14.8 日
R4	14.7 日
前年比	0.1 日